

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	CLINKS株式会社	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	801名
事業概要	ITアウトソーシング事業,システム開発事業,教育訓練事業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	在宅勤務規程
テレワーク担当部署	テレワークビジネスエッセンシャル事業部 / 総務部
テレワーク対象者	全職種
実施者数	801名
平均実施日数	月8回以上12回未満程度(概ね週2~3回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 社長が通勤時間が非常にもったいないと考えていた
- 社長が実質在宅ワークであった
- ITエンジニアの人材不足の状況が慢性化・深刻化していた
- 介護・育児などの事情で通勤が難しい元エンジニア・専業主婦、地方で仕事が少ない現エンジニアなど、在宅なら業務可能な豊富な人材が存在することが分かった
- 在宅でもオフィスに居ると変わらない環境があれば、在宅派遣やテレワークは可能ではないかと考え、2016年10月よりテレワークプロジェクトを発足し、社内でテレワークの取り組みを開始した。

テレワークの概要・特徴

- 在宅エンジニアと、テレワークに必要なセキュアな通信環境や労務管理ツールをセットで顧客に提供するサービスを開発し、客先常駐社員が在宅勤務を出来る環境を構築。
- テレワークに必要なICT環境となるツール類の費用は全て弊社で負担し、客先常駐社員と比較して在宅エンジニアを安価で利用出来る料金を実現、顧客側にもメリットを生み出している。また、様々な事情で会社に出勤して仕事の出来ない方の雇用を創出した。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 中途採用応募者数が2018年度(8,773名)~2020年度(14,173人)で161%向上。
- 様々な理由で在宅勤務を希望する全国の20代~40代の技術者雇用を可能にし、働き方の多様化を実現。
- 10人の障がい者雇用も可能にした。
- 社内アンケートにて、在宅ワークで生産性が向上した、また入社時と変わらないと答えたスタッフは79%となった。